



2004年4月26日

セカンドハンド通信 NO.36

NPO法人セカンドハンド 本部事務局 〒760-0055 香川県高松市鶴光通1-1-18
TEL&FAX 087-861-9928 発行責任者:新田恭子
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://www.eskimo.com/~2nd-hand/



5月27日 セカンドハンド10周年記念 チャリティーコンサート

日 時: 2004年5月27日(木)
場 所: サンポートホール高松 大ホール
(JR高松駅からすぐ)

入場料: 一般 3,000円(当日3500円)
学生(高校生以下) 2,000円(当日2500円)

戦争の世紀と呼ばれた20世紀が終わり、希望に満ちた21世紀が幕を開けたと思ったのもつかの間、9・11事件、イラク戦争、パレスチナにおける自爆テロと報復攻撃の連鎖など、世界はますます混迷の度を深めています。これらの目に見える暴力が私たちに教えるのは、その陰にある貧困、差別、抑圧といった目に見えない暴力の存在です。平和な世界を実現するためには、こうした目に見えない暴力を解消することこそが重要であり、そのため必要なものは武力ではなく、私たち一人ひとりの心のあり方なのだ、セカンドハンドはそんな思いを強くしています。

10周年記念事業は、アテフ・ハリム氏(出演者詳細はP2)によるバイオリンのコンサートです。
アテフ氏の信条は、

音楽こそ すべての人類がわかりあえる唯一の言葉
そして、平和につながる確かな希望。



音楽をとおしてアテフさんが伝えたいと思っていることは、そのままセカンドハンドの願いでもあります。名曲のしらべに耳を傾けながら、平和な世界の実現をめざし、国際協力についての思いを新たにする、そんなひとときを記念すべき10周年の節目に皆さまにお届けしたいと思っています。

会場では、カンボジア商品の展示販売、セカンドハンド10年の歩みを紹介するビデオ上映や展示も企画しています。また、コンサートの収益金はすべて、カンボジアの困難な状態にある人々の教育・自立・医療の支援にあてられます。
ぜひ、お出かけください。お待ちしております。

● ● ● ● セカンドハンド10周年記念応援メッセージ募集中!(5月26日まで) ● ● ● ● お手紙で、FAXで、メールで、あなたの声を送ってください!

カンボジアで出会った学生に、「本を送って欲しい」と頼まれたことがきっかけで始まったセカンドハンドの活動。皆さんに支えられて今年10周年を迎ました。一人の力は限られている。でも多くの力を集めればその力は無限に広がる...。みんなの力が、声が多く勇気をくれました。11年目のスタートを切るセカンドハンドに、どうぞあなたの声をお寄せください。「応援メッセージ」「セカンドハンドに希望すること」「10年を振り返って」などなんでも結構です。皆さんから寄せられたメッセージは「10周年記念コンサート」会場特設コーナーで紹介させていただきます。また、当日会場でもメッセージを受け付けています。お手紙で、FAXで、メールで、そしてコンサート会場であなたの声を聞かせてください!お待ちしています。

<宛先> セカンドハンド10周年メッセージ係
郵 送 〒760-0055 高松市鶴光通1-1-18 FAX 087-861-9928
メーリー jimukyoku2hand@yahoo.co.jp 2nd-hand@eskimo.com

メッセージをありがとうございます

構想日本代表 加藤秀樹

政府や為政者の利害、思惑から離れて、そこに住んでいる人々が本当に必要とする助けができるところに、NGO、NPOの大きい役割があります。国家という枠組みが近い将来なくなることばないでしょう。しかし、グローバル化が進むほど、国家を超えた人々のつながりが重要になり、また、盛んになります。皆さんの活動はますます期待され、また、評価されるのです。"Boys and Girls be ambitious"は今までに新鮮な言葉なのです。



「セカンドハンド」は、皆様からいただいた品物を販売し、収益金すべてを援助にあてる国際協力団体です。主にカンボジアに小学校を建設など、教育支援、自立支援をおこなっています。チャリティーチョップや支部は無償で働くボランティアスタッフが支えています。店舗や倉庫は無料または格安でお借りするなど、皆様のあらゆる協力の上で成り立っています。「一人一人の力は小さくても、集まれば大きな力となる」セカンドハンドのモットーです。あなたも世界の誰かのために、ボランティアしてみませんか?

商品提供やご寄付など、支援して下さった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。



10周年記念チャリティーコンサート出演者

アテフ・ハリム(ヴァイオリン)

父はエジプト人、母はフランス人、フランス国籍。5才でヴァイオリンを始め、13歳で単身パリへ。ペネディ、コーガン、ハイフェッツ、メニューインに師事。フランス国立管弦楽団のコンサートマスターを2年務めた頃、ヘンリク・シェリング氏に出会い、内弟子として4年間研鑽を積む。その後、ソロとしてヨーロッパで活躍。カール・ベ - ム、レナード・バーンスタイン等有名な指揮者の元での演奏、多くの優れた演奏家達と共に演じた。レコード・CD制作では、ル・mond誌、ディアバソン誌上で

最優秀賞『四つ星』を受賞。<最も知的で輝かしい音楽家>と賞賛された。

1993年日本での演奏活動開始。2003年11月、栗林公園(高松市)で行ったセカンドハンド・チャリティーイベントに参加。美しい庭園をバックに、訪れた方々を素敵な音色で包み込んだ。

潮田 侑樹(ピアノ)

3才でピアノをはじめ、14才の時、秋山和慶指揮により東京交響楽団とピアノ協奏曲を共演する。桐朋学園付属

音楽高校卒業後、ドイツへ留学。モーツアルデウム音楽学院在学を経て、ベルリン芸術音楽大学を首席で卒業。同大学院でライナー・ベッカー氏に師事。国際音楽コンクールでの優勝、入賞多数。

潮田氏の演奏を聴いたノルウェーの現代作曲家エドワード・ハゲルップ・ブル氏より同氏作品の演奏依頼を受けるなどヨーロッパ各地で高い評価を得、活躍している。2002年帰国し、現在は日本を基盤に活躍している。

エルガー / 愛の挨拶

マスネ / タイスの瞑想曲

ドヴォルザーク / ユモレスク

曲目

クライスラー / ブニャーニの様式による前奏曲とアレグロ

瀧廉太郎 / 荒城の月

ヴィターリ / シャコンヌ

ブラームス / ピアノとヴァイオリンの為のソナタ第3番

二短調Op.108 など

託児室も用意しています。(要予約 500円 + 保険料実費)

コンサート協力ボランティアを募集しています。お問い合わせはセカンドハンド本部まで

セカンドハンド応援10年分のありがとうを込めて。

期間限定!

1万円以上のご寄付を頂いた方に
10周年記念コンサートチケット or CD or 絵ハガキ

プレゼント!

いつもセカンドハンドへの応援ありがとうございます。

今回10周年を記念して、(同封の)振込用紙で

1万円以上ご寄付を頂いた方に、期間限定で

「10周年記念コンサート アテフ・ハリムコンサートチケット(1枚)」、

CD、絵ハガキの中からご希望の1点をプレゼントします。

備考欄に希望する商品をご記入の上、お振込みください。



- 期間は5月末まで。コンサートチケットご希望の方は郵送の関係上、5月20日(木)までにお振込みください。
- 20日以降はCDまたは絵ハガキとなります。

ボランティア基金に御協力ください!

今回から、本部ビルのシャッター修繕費、倉庫やお店のエアコン設置などを集めます。

これまで集まったお金は、できるだけそのままカンボジアに送るように…と努めて参りました。でも、集まった商品を現金化するには多くのボランティアの手が必要になります。セカンドハンドの活動が支援になっているのも、そんな形で支えているボランティアスタッフががんばっているから。10周年という機会に、ボランティアスタッフが少しでも働きやすい環境を整えて参りたいと思っています。賛同して下さる方は、ボランティア基金と記入してください。

今年度(2004年度)に限り、指定なしでご寄付いただいた場合、ボランティアのための環境整備に充てさせていただきます。

平成8年8月、香川大学から提供された足踏みミシンを夏の猛暑の大学校内で修理したことを懐かしく思います。香川ミシン(株)(高松市)
その節には本当にお世話になりました。あの日は本当に暑かったです~



カンボジアで病棟の建設依頼を受けました！

プノンペン市保健局からヘルスセンターに入院できる病棟を建設してほしいとの依頼がありました。

現在、貧困地域の保健医療のために建設している施設は2種類あります。

このヘルスセンターの裏に
病棟を建設予定



<ヘルスルーム>

保健室のような小規模のもので、スタッフはアシスタントドクターと看護婦が各1名。住民が利用しやすい午前と夕方に診察。セカンドハンドはこれまでにヘルスルームを2棟建設支援している。

<ヘルスセンター>

診療所のようなもので、スタッフはドクター2名、看護婦7名、助産婦7名程度。ヘルスルームで対応できない患者

さんを診ることができます。ここで分娩もできる。

病院だと出産のために數十ドルの費用が必要ですが、ヘルスセンターでは貧しいと判断された場合、無料で出産できます。しかし、ヘルスセン

ターには出産後、入院できる部屋は1室のみ。3畳程の部屋に2台のベッドが置いてあるだけです。プノンペン中心部から車で30分という場所にあるため、ここで出産を希望する方は多く、私たちが訪問した日の午前だけで40名近い妊婦が定期検診を受けていました。安心して出産できる場所が欲しいという多くのニーズから、ヘルスセンターに病棟建設という要請になったようです。

セカンドハンドでは、今年度この施設の建設に向けて資金を集めることを予定しています。御協力をお願いします。

昨日生まれたばかりの赤ちゃん
とお母さんが2組入院



着工がはじまりました!! コブトロック小学校

プノンペンから車で北に4時間、アンコールワットがあるシエムリアップに向かう中間地点にコンポントム州があります。コブトロック小学校は国道からでこぼこ道を東に30分入ったところにあります。この辺りはつい最近まで地雷原でした。クメールルージュの残党が村を襲うたびに逃げ、埋められた地雷を取り除きつつ、生きのびてきたという人たちが住んでいます。生徒の服装から推察すると、この地域はかなり貧しいようです。

小学校に到着して驚いたのが、現在ある校舎の状態です。建設した工事会社が材料費を安くあげるために手抜き工事をしたため、コンクリートの柱が湾曲し、わずか築8年で、いつ崩れるかわからない危険な状態になっています。歪んだ柱を木材で補強していますが、いつコンクリートの固まりが生徒の頭上に落ちてくるかわからない状況を見て、ぞっとしました。

朝食支給についての余談

このプログラムを実施して、子供達の出席率が上がり、遅刻が激減したそうです。また、空腹で授業を受けていたため集中力が欠けていた子供も、落ち着いて授業に集中でき、生徒の成績もよくなつたようです。

通常カンボジアでは2交代制で授業を実施していますが、午後の生徒には朝食が支給されないため、この学校では、午前と午後のクラスを一ヶ月で交代し、平等に朝食が食べられるように配慮しているそうです。

朝食支給プログラムに使う野菜を校庭で作っている(カンボジアのモデル校で撮影)



屋根の陥没、梁の歪みが見える
校舎前で、地雷が残ってないか
建設前に再調査。

この生徒は他の小学校と比較して素朴な感じを受けますが、授業風景はのびのびとしていて好印象を受けました。

現在この学校では、WFP(世界食料計画)の支援で朝食が支給されています。朝食は支給されたお米を地域住民がボランティアで作るというもの。校長先生から、将来的には校庭で朝食のための野菜づくりや花壇を整備して、生徒にも植物の育て方を学んでほしいという意向を聞きました。学校建設の際に、通常はトイレと井戸を建設しますが、今回の学校はすでにトイレと井戸がユニセフの支援で設置されていたため、その分の予算+で「校庭の花壇」整備を実現させることになりました。

学校は7月に完成予定です。まだ30歳代前半という若くて意欲的な校長先生に期待しています。



郵便振替でのご寄付、ありがとうございます

ニュースレターに同封している郵便振替用紙でのご寄付が、2003年度合計1,290,295円となりました。

寄付しやすいシステムを作成してほしいとの要望を受け、2000年に開設した郵便振替口座には、これまで多くの寄付金やメッセージが届けられました。胸が熱くなったり、「がんばらなきゃ」と思われたり…ご寄付やメッセージにどれほど励まされたことか…これからも皆さんの思いをしっかりと届けて参ります。

これからも、よろしくお願いします。

うございました！

指定なし	822,976円
緊急支援	20,500円
小学校建設	141,029円
自立支援	102,930円
通信費カンパ	79,860円
孤児院建設	83,000円
医療支援	40,000円

(2003年4月～2004年3月)

イラン地震緊急救援

昨年12月に発生したイラン地震の緊急救援のため、シャンティ国際ボランティア会(SVA)に5万円送金しました。内、12731円は小指会(セカンドハンド学生部)が街頭募金で集めました。SVAを通じて緊急救援活動資金に充てました。

カンボジア STUDY TOUR

2004年2月16日～2月27日 参加者8名

今回は10周年記念のスタディーツアーです。これまでの支援先をすべて撮影(観察)することを目的として実施しました。

カンボジアの「南」はベトナムとの国境から、「北」はタイとの国境近くまで、ぐるっと陸路で回りました。計画の時点では11日間の日程で回れるか、また参加者が元気でこの日程をこなせるか不安いっぱいでした。私たちの支援は確実に地域に根付き、喜ばれています。それを再確認できたスタディーツアーでした。

*今回撮影した支援先の映像など活動をまとめたビデオは5/27のチャリティーコンサート会場で上映予定です。あなたの協力の成果を実感してください。

大縦断旅行で感じたのは、セカンドハンドの10年間の成果の広がり。

車で回ったおかげで、その広がりを身体で実感することができました。

行く先々で身体をなでられたり、抱まれたり、歯が浮くような賞賛と感謝の言葉をいたいたいたり…。カンボジアの人たちの精一杯の感謝の気持ちを、これを読んでいるあなたに代わって受け取ってきました。

私たちの支援は確実に地域に根付き、喜ばれています。それを再確認できたスタディーツアーでした。

*今回撮影した支援先の映像など活動をまとめたビデオは5/27のチャリティーコンサート会場で上映予定です。あなたの協力の成果を実感してください。

参加者の報告書

「二度目のカンボジア」若宮 武

~またカンボジアの力を感じるために、行ってみようと思う。~

前回のスタディーツアー後の私の感想文の最後の一文である。まさか、この一文がわざわざ1ヶ月後に実現するとは思っていなかった。初めてカンボジアに行くときはセカンドハンドでのボランティア活動と現地、カンボジアでの支援のつながりを見ること、大学での授業では味わえない「刺激」を求めるということ、二つの目的を持って臨んだ。しかし、今回のスタディーツアーへの誘いが来たときは正直、あまり乗り気ではなかった。それは、前回のような明確な目的を自分自身が持てないでいたからだ。それでも行く決心をしたのは今回はセカンドハンドの十年分の活動を見て回ること、「行ったら行ったで、得られるものがきっとあるはず」という漠然とした期待があつたときだ。

たからだ。はっきりとした目的を練り上げる前に、今ある時間を大事にしたかった。

さすがに、

八ヶ月という短い間隔だったため、前回と比べてカンボジアに劇的な変化を感じられなかった。その代わり、間隔が短かったせいだろうか、カンボジアをすぐ身近に感じた。たった二回しか来ていないのに、既にカンボジアは私にとって身近な存在になっていた。もはや、身構えて向かう国ではなくなっていた。

今回、カンボジアを訪れて一番感じたことは、どれほどセカンドハンドの力が求められているかということ。もう少し深く言えば、その力とはセカンドハンドで活動するボランティアスタッフ、セカンドハンドを支援する方々、一人一人の力のこと

「貧困に負けない逞しさ」三橋 乙矢

私はツアーメンバー8人は、3月16日ブノンペン国際空港に降り立った。私にとって今回のツアーは2回目ということもあり、暑さと湿気には覚悟ができていた。しかし、空港を出た途端、その風景に圧倒された。街中はホテルやレストランが建ち並び、人で溢れていた。2年前のカンボジアとは全く別の国のように感じた。「カンボジアもすごい勢いで発展してるんだな」とその時は思った。

今回のツアーはセカンドハンド設立10周年ということもあり、過去の支援地域すべてを訪問することになっていた。そこで私たちは首都ブノンペンとは全く違う光景を目の当たりにした。崩壊寸前の学校、末だに続く人身買賣、エイズ問題と多くの問題を抱えた地域がまだ存在するのである。セカンドハンドでも学校建設、女性や障害者の自立支援、また医療支援と多分野にわたり支援し、カンボジアの人々も少しずつ安全な生活を送れるようになってきている。しかし、カンボジア全土には、そのように困ってい

ある。過去、セカンドハンドが支援してきた学校や施設を訪問すると、その行く先々で地元住民からの熱烈な歓迎を受けた。伝統的なクメール料理を盛り付けて、大勢の住民が長い時間、私たちソニー一行の到着を待っていた。この熱烈ぶりはセカンドハンドの過去の活動に対する感謝の表れた。それだけ、過去の活動がこの人たちにとって必要とされていたものだと分かった。カンボジアの学校は教師と生徒だけで成り立っているわけではない。近くのお寺や地域住民、生徒の家族など、学校と相互に影響を与え合うコミュニティの存在が非常に大きい。学校を建設支援することはそのコミュニティそのものを支えることになる、このことを今回受けた住民総出の歓迎で感じ取ることができた。

もう一つ感じたのは、前回と同じく、カンボジア人自身の力だ。きっと、以後、カンボジアを何度も訪れてでもこのことには毎回気づかされ続けるような気がする。その中でも、セカンドハンドが建設支援するコブトロック小学校の校長先生の意欲には驚かされる。先にも書いたとおり、カンボジアの学校は周辺のコミュニティとの関係が非常に密接だ。この校長先生はそのコミュニティ全体の環境改善、成長を望んでおられて、その構想を熱く語ってくれた。

セカンドハンドのボランティア、支援する方々、一人一人の力が校長先生の構想実現を手助けするため、コミュニティの未来のために必要とされているのだと強く感じさせられた。

行く前の漠然とした期待通り、今回もカンボジアでこそ得られるものの、感じるものがあった。セカンドハンドのこれまで十年間の活動は地道ではあっても、その着実な成果を見てきた。さらにこれから十年先、カンボジアは、カンボジアに住む人々の暮らしはどう変わっていくのだろうか。

~またカンボジアの力を感じるために、行ってみようと思う。~

人もたくさんいることを忘れてはならない。いろんな村を訪問する度に、私たちのボランティア活動に、村人が期待していること、私達一人の活動に必要性、重要性をあらためて実感した。

また子ども達には、日本の子ども達と変わらない元気と笑顔があった。生活の苦しさにも負けない逞しさのようなものを感じた。

カンボジアから日本へ帰国した今、私達がすべきことは、カンボジアの人々が安心して生活できるように支援するとともに、日本とカンボジアの関係を大切にし、未来を担う子供達の笑顔をひとつでも多く増やすことだと思う。

パンコク

11日目
CWDA(カンボジア女性開発協会)
97年識字リソースセンターを建設支援。1階はタイ
語や英語などの職業訓練、2階は識字教育の資料閱
覧、3階は女性たちのシェルターとして利用されている。

次期支援予定 ヘルスセンター見学。詳細はP3

03年完成、10校舎目の学校。



香川のうどんが有名と聞いて、
カンボジアのうどんを用意してくれました。米の粉の麺
(見た目はうどん)にコナツミルクのスープを
かけて食べます。



8日目
ラチャナ・ハンディクラフト・バタンバン
女性の自立を目的に設立された団体。この団体に計約100台のミシンを送った。
7年前の設立当初は目が飛び出るような色合わせだったり、縫い目がずれたり…。今では日本人の好みも理解し、売る商品を作れるようになりました。セカンドハンドが寄贈したコンピューターで、外国からの注文もメールで受けられるようになりました。

8日目
ホームランド孤児院
<施設完成>
03年12月、事務所部分の建設依頼を受けていた孤児院の施設が完成。



<フォスター・ペアレンツ制度>
現在セカンドハンドを通じ、支援している里親は21名。日本のお母さんに喜んでもらいたいからと勉強や職業訓練に励むようになった、「日本に親がいる」ということで愛情を感じ、子ども達が強くなったり(職員談) フォスター・ペアレンツ募集は次回のニュースレターで案内します。
(年1～2回募集を予定)



子ども達の食事風景

03年12月完成のヘルスルーム



10日目
医療施設支援
貧困地域の方が医療を受けられるように、ブノンペン市が実施しているプロジェクトに協力し、2003年ブノンペン郊外にヘルスルームを2棟建設。いずれも患者さんがひっきりなしに来所し、地域住民に活用されていました。周辺の村では、言葉はわからなくても住民の方々にどれほど喜ばれているのかを実感してきました。

CHA(ブノンペン)
地雷障害者等の自立支援団体。カンボジア3ヶ所にある作業所のメインオフィスでもある。セカンドハンドから送ったミシンがここでも活躍。



11日目
CWDA(カンボジア女性開発協会)
97年識字リソースセンターを建設支援。1階はタイ
語や英語などの職業訓練、2階は識字教育の資料閱
覧、3階は女性たちのシェルターとして利用されている。

次期支援予定 ヘルスセンター見学。詳細はP3

03年完成、10校舎目の学校。



香川のうどんが有名と聞いて、
カンボジアのうどんを用意してくれました。米の粉の麺
(見た目はうどん)にコナツミルクのスープを
かけて食べます。



4日目
アンダモントレイ小学校
開校式典ではなく交流を希望した私達に地域の方が「カンボジアのうどん」で接待してくれた。交流会後、学校周辺の児童の家庭を訪問。

サムロン小学校(02年建設)

児童への文具寄贈式
歓迎のため集まった地域の方に手渡す。



5日目
カンボート州政府庁舎でメダル授与式
黙一等「国家復興功労賞」を感謝状を授与される。

チュムクリエル小学校(98年2棟建設)

大歓声が写真から聞こえそうです。元気のいい子どもたち!



■このコーナーのグッズはメール、FAXでお申し込みいただけます。

E-mail:2nd-hand@eskimo.com

FAX

GOOD
GOODS

セカンドハンド・ オリジナルバッグ

SECOND
HAND
fair trade

内側にポケットがたくさんついた、使いやすい素敵なデザインです。

スヴァイリエン職業訓練センターで作られた商品です。



素材:シルク(1088)￥4,800
素材:コットン(1086)￥3,800
色:赤系、青系、緑系、グレー、黒などがあります。

サイズ:
高さ30cm×横40cm×幅10cm

カンボジア自立支援につながる
フェアトレード商品です。

4ケタの商品番号で御注文下さい。色はお問い合わせ下さい。

チャリティーCD「少しだけ」(全6曲) ￥1,500
セカンドハンドに出逢ってできた素敵なレオンさんのやさしさ溢れる唄声とメロディー。「今までより、少しだけ…頑張ってみようかな」という気持ちにさせてくれるCDです。



販売レコード店 タマル本店、エル、ゼルbyタマル高松店、タマル太田店、ゼルbyタマル丸亀店、VOICE、DUKE

オリジナルポストカード

(7枚組) ￥500

これまでのセカンドハンドのスタディーツアー秘蔵写真の中から選びました。ハガキの表には、セカンドハンドからのメッセージも入っています。セカンドハンドをもっとたくさんの方に知りていただくために、是非使ってください。



募金箱 無料

ご家庭、教室、職場、どこに置いてもOK!
なお、募金箱は再利用してくださいね。

ニュースレターバックナンバー NEW ←
35号まで全セットで ￥3,000(送料込)

スタディーツアー報告書 NEW ←



1999年報告書 ￥300

2002年報告書 ￥500

スタディーツアーを冊子にまとめたものです。参加者一人一人の報告書も入っています。

NEW ←

「ひとりから始まる」

￥1,400

NPO代表者ら11人が執筆参加した本です。
セカンドハンド代表も参加。



郵便での購入をご希望の場合

郵便振替口座に「CD希望」「ポストカード希望」「募金箱希望」「カンボジア商品希望」など明記し、住所、氏名、希望枚数を御記入の上、商品代金に下記の送料を加えてご入金下さい。

送料: CD、書籍類 200円 ポストカード 90円
募金箱 160円 カンボジア商品など1箱 500円

合計1万円以上お買上げの場合、送料無料

[郵便振替口座]
口座番号 01620-6-60029
加入者名 NPO法人セカンドハンド

わらじ基金

～お寺のお賽銭を寄付！？～

高松市の専光寺さんからわらじ基金をいただきました。
このわらじ基金は、お寺のお賽銭からとってもユニーク。

名前の由来は、「駕籠(かご)にのる人担ぐ人、そのまた草鞋(ワラジ)をつくる人」という慣用句がありますが、駕籠を担ぐ人の足を支えるための「わらじ作り」という意味から来ているそうです。御住職さんは、「自分にはできないけど、活動している人の足を支えることが自分のポジションだと思っている」と語ってくださいました。

お寺の支援者の方も「仏様にお賽銭を差し上げたけれども、そのお金がどこに使われたかはっきり分かるから嬉しい」と喜んでくださったそうです。

有り難いご寄付です!

SPECIAL THANKS 敬称略



【店舗・倉庫】丸亀TMO推進協議会(丸亀店)、西川(福岡店)、弘陽商会(朝日新町)、金丸水産・中村(瀬戸内町)、富井(満濃町)【出店協力】雲辺寺、エースワンサンポート高松店、燐【ニュースレター発送協力】三木中学校、高松南高校、BBS愛好会、その他多くの方々【寄付】香川/秋山玲子、(株)アサツーディー・ケイ四国支社、庵治中学校、綾歌町こころの健康づくりミニイベント実行委員会、安藤一男、市村裕子、大橋綾子、大橋音楽教室、岡上幸子、岡野道子、奥谷順子、香川ミシン(株)、加藤博子、川井利夫、久保智枝、鯨丹舟、紅谷奈津江、塙江中学校、清水節子、清水政和、高之助、田所清美、(有)田中工務店、羽床小学校、久島茂子、袋田芳子、古田裕子、溝瀬広史、八木直子、山下真理子、山田美智子、横山秀敏、吉川正美、愛媛/村上史子、大阪/宍吹、橋本加代、岡山/出生弥生、落合高校、田中勝己、田中酒店、藤川幸恵、鹿児島/手束尚子、神奈川/アイスタッフ(株)社員一同、長山喜代子、埼玉/阿部守、鎌田富子、東京/白川ふみ、高橋久美子、阪神エーカー(株)社員一同、長野/北山直子、奈良/瀬崎滋雄、長富みゆき、兵庫/則政喜美代、福岡/草ヶ江幼稚園園児一同、古賀邦雄、後藤キク工、薄湯陽子、(株)ニシカワ、イギリスト/米谷穎子、【その他】大山牧場、香川マツダ、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、JR四国、セカンドフット、セキヤ、天勝(丸亀)、錦郵便局、ホテルジャパン【印刷協力】アイニチ(株)

✉ 直接参加できませんが、応援しています。(別府市 匿名希望)

各店・支部便り

セカンドハンドの輪を広げよう!
支部募集中!

福岡店

昨年の11月17日にオープンしています!
住宅街の一軒家で、庭から入る店内は癒し
の空間です。



福岡店では、
着物や帯(正絹)
が人気を集めて
います。

商品のご提供、ご来店をお待ちしております!



青いのぼりが目印

京都支部

カンボジア商品を販売し
てくれるお店が2店舗見つか
りました!

手数料なしで引き受けて
下さりうれしい限りです。
少しずつですが、活動を支
援してくれる方の輪が広がっ
ています。

川口支部

企業の社長さんたちが集まる「三略会」のメンバーがセカン
ドハンドに協力して下さっています。

4月はじめ、その会に大場久美子さんと新田代表らが招かれ、
セカンドハンドの活動を紹介しました。早速、ゴルフコンペをチ
ヤリティーにして寄付して下さるなど協力の動きがあり、頼もし
い協力者を得たと、一同喜んでいます。

「御理解いただけるならボランティアのための環境整備に充
てたい」との発言に、「私達は商品を提供したり寄付をすることで支援したと言う気持ちになっているが、カンボジアで形となるまでの間には商品整理や店番などボランティアとして働く方がいるからできているんだということを忘れてはいけない。カンボジアへの直接の支援だけでなく、ボランティアの方々への後方支援も大切」と深い理解を示して下さり、関係者は感動の涙…

三略会のご寄付はボランティア基金に充てさせていただきます。

バザー開催予告!ボランティア募集

横浜のたまブラー(駅)近くでバザー会場を提供して下さる話があり、6月頃に開催予定です。現在日程等を調整中。準備やお店番など参加して下さる方、募集中!

北海道支部

「NGOとこにちは!NGO屋台村」へ出展しました!!

1/17、18の2日間、活動紹介のパネル
展示、カンボジアの手工芸品を販売をしま
した。

ブースを訪れ写真や資料を興味深く見
学する人も多く、また何かできることがあ
れば参加したいと言ってくださる人もいま
した。何かしたいけれどもどうしたらいい
かわからなかった、又、必要なくなった衣類
などを役立てたかったがどうすればいいか
わからなかったなどの声も聞かれました。
北海道支部は、まだそういった声に十分に
対応できる活
動形態とは言
えないのす
が、できること
から広げて続
けていきたい
と思っています。



片原町店

丸亀町店閉店に伴い、片原町商店街に新店舗をオープンしました。旧丸亀町店から徒歩3分。セカンドハンドの店舗
の中で、モデルとしているイギリスのOXFAMのチャリティーショップに一番近いお店です。

片原町店の特徴は、間口が広く明るい店内で、売り場面積は2階も含めて約100m²と広く、お客様もボランティア
に参加できるコーナーを設けているという点。これは、お買い物に来た初めてのお客さんでも時間があれば切手の仕
分けなど簡単な作業ができるというもの。この店舗は通常より格安ではあります、有料でお借りしているため、急な



引っ越しを強いられることなく安心して活動を続けられます。商店街の活性化にわずか
でも貢献したいという願いもありますが、子どもから高齢者まで公共交通機関を使い単
独でもアクセスできる商店街に活動の場を設けることは、セカンドハンドにとっても活
動の輪を広げ、多くの方に参加できる機会を提供することにもつながります。

素敵な活動の場が整いました。ぜひ、スタッフとして御協力ください!

特に夕方、日曜日のボランティアが不足しています。HELP!!

各店・各支部ボランティアスタッフ募集中です。お近くのセカンドハンドまで是非お問合せください!

■ ニュースレターはセカンドハンドの活動内容が分かりやすく紹介されており、拝読する度に「自分に出来ることをしなきゃ!」と奮闘しております。(神戸市 岡本様)
うれしいですね~(編集スタッフの声)

information

セカンドハンド 平成16年度総会

日時:5月29日(土)10時~

場所:高松市女性センター

参加自由ですが、資料は5/21までに要申込。
お申し込みは本部(後藤)まで。

ニュースレター発送作業

次回は7/25の予定です。

単純作業ですが、
多くの人手が必要です。

参加可能な方は、
本部までご連絡ください。

書き損じハガキを 集めてます!

投函していない官製ハガキを提供して下さい。

ニュースレター発送用の

郵便書簡に交換します。

未使用の商品券や

テレホンカードも大歓迎です。

使用済み切手を 集めてます!

破損のない切手を周囲5mm程
残し、切って下さい。

詳細をFAX、郵送で送ります。
本部にご連絡ください。

2003年度に集めた切手は、
21,850円に換金できました。
ご協力ありがとうございます!

提供品の受付

食器、日用品など
季節のないものは常時OK

春物 5/15まで

夏物 5/15から8/31まで

紙袋は在庫過多のため、受付休止中です。

ボランティア スタッフ募集中!

お店番、運搬、倉庫作業、
ホームページ、事務など、
ボランティアを
募集しています。

セカンドハンド通信を ネットでGET!

ホームページからダウンロード可能な方、
郵送は必要ないという方は

2nd-hand@eskimo.comに御一報下さい。
発行のお知らせをメール配信いたします。

収支報告書は毎月セカンドハンド店頭で掲示しています。

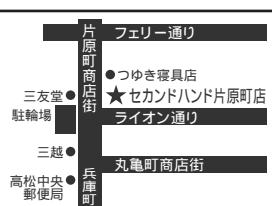
高松店

高松店 1F
セカンドハンド本部 3F
〒760-0055
高松市観光通1-1-18
TEL: 087-861-9928
営業時間:
10:00~19:00



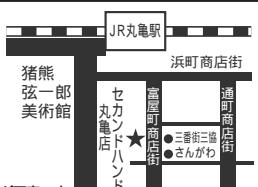
片原町店

NEW OPEN
セカンドハンド片原町店
〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL: 087-822-3552
営業時間:
10:00~19:00



丸亀店

セカンドハンド丸亀店
〒763-0021
丸亀市富屋町30-1
TEL: 0877-25-2876
営業時間:
火・水 11:00~13:00
木 11:00~16:00
ボランティアスタッフ不足のため営業時間が不定です



福岡店

セカンドハンド福岡店
〒814-0131
福岡市城南区松山2-7-15
TEL/FAX:
092-871-5760
(E-mail) r-kimura@highway.ne.jp
営業時間:月・木 11:00~15:00



支 部

セカンドハンド川口支部
責任者 早船 森田 090-4169-9940
(E-mail) tsubasa@i-staff.co.jp

ホームページ <http://www.i-staff.co.jp/2nd-hand/>

セカンドハンド大阪支部
徳 090-6241-3768
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

セカンドハンド北海道支部
大波 Tel:090-2695-9390 Fax:011-785-2311
(E-mail) satomie@seagreen.ocn.ne.jp

セカンドハンド京都支部
浜本(きょうとサポートハウス内)
Tel:090-3351-3697 Fax:075-752-3076
(E-mail) tkwxf771@yahoo.co.jp

倉 庫

金丸水産2F
消防署
山内GS
宮脇カルチャースペース
競輪場
高松市瀬戸内町金丸水産2F
木 9:00~16:00
水 13:00~17:00
金 10:00~17:00
TEL: 070-5184-6990

商品を郵送する場合には高松店にお願いします

このニュースレターは3ヶ月に一度5500部発行しています。
封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4200部を全国
の支援者へ無料で発送しています。購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、
メールなどでお申し込み下さい。